



“Next stage!”



校長の上原源三です。

「皆さんに伝えたいこと等を中心に、月1回程度発行していく所存です」と始めたこの校長だより「Next stage!」が20号に達しました。第1号を改めて見てみると「どこまで続くのか私自身も見当が付きません」と自信なさげに書いていますが、何とか月2回程度は発行できております。(多いのか少ないのかは自分で分かりません) 1年間読んでいただいた皆様ありがとうございました。

～平成29年度修了にあたって!～

平成29年度が修了します。1年生諸君は、入学して早1年が過ぎようとしています。去年の今頃は高校受験に合格し、まだその余韻に浸っていた頃だと思います。あれからもう1年が過ぎました。そして2年生諸君、この1年速くなかったですか?卒業式に参加していろいろなことを感じたと思います。みなさんの卒業式はあと1年を切りました。時の経つのは速い。特に高校時代はあっという間です。1年を振り返るにあたり、今の自分を今一度見つめ直し、このままでいいか、いまのままでいけないのか自分自身が一番よく分かっているはず。 “Next stage!” に向けてよく考えて行動してください。

この1年間、職員、生徒のみなさん、保護者に支えられ何とか終わることが出来ました。いろいろと課題も多くありますが、それは次年度に改善できるように努めて参ります。私は校長として、浦添高校が1歩でも半歩でも発展していけるように最善を尽くしていく所存ですので、皆様のこれまで以上のご協力をよろしくお願ひします。この1年本当にありがとうございました。 校長

～合格体験発表会～

卒業生による進路講話が16日(金)に行われた。現役合格を成就した卒業生諸君には貴重な話をしてくれて本当に感謝している。さて、生徒のみなさんは色々と学ぶところがあったと思うが、ここでは特に印象に残ったことや共通して言っていた事を記してみたい。



1. 授業を大切にした。(疑問を残さない。特に部活生)
 2. 資格・検定等を取る。
 3. オープンキャンパス必ず参加
 4. 新聞・本を読む。
 5. 模試はやりっ放しにしない。(間違った問題のノートを作成し、何度も復習した。)
 6. 面接は回数をこなす。(自分の強み、弱みを知ることでの対策ができる。)
 7. 小論文はたくさん書く。試験時間を意識して書く。
 8. 受験は団体戦である。
- 他にもたくさんのアドバイスがありました。これを活かすも殺すも生徒諸君次第だ。悔いの無い対策を願ってやまない。 校長

*** 校長雑感 ***

今年度で転動してしまう先生方が多数おります。その間浦添高校の生徒のために、授業、講座、事務、部活など日夜、休日も返上して一生懸命頑張ってくれました。校長としてはもう少し一緒に働きたかったという思いでいっぱいです。みなさんはお世話になった先生方にどういう言葉を掛けますか?

転動する先生方 “Next stage!” でも頑張れ~!!

～～～ 時の言葉 ～～～

私が人生で学んだことは
自分が今持っている力を
全部使えということです。



ホーキング博士
(イギリスの理論物理学者)

学生の頃、筋萎縮性側索硬化症(ALS)を発症し、その後50年にわたって研究活動が続けてきた。1963年にブラックホールの特異点定理を発表し、現代宇宙論に多大な影響を与えた。

～生徒諸君へ～

少し苦い話をするぞ。

最近やけに気になることがある。それは登校時に自らあいさつをする生徒が少ないということだ。廊下ですれ違うときはよくあいさつしてくれるが、どういう訳か朝はイマイチだ。それと登校時に制服を着けていない男子が目立つ。

どうしても看過できないことは、授業中のおしゃべりや態度だ。何度注意しても改善されないという報告もある。あわせて先生方への言葉使いも気になる。

以上述べたことは、次年度改善しよう生徒のみなさんに強く協力を求めます。素晴らしい浦添高校に発展させていきましょう。

校長